

来週の市場とレート予想

	7/18 (月)	7/19 (火)	7/20 (水)	7/21 (木)	7/22 (金)
無担保O/N	△0.086% ~ 0.000%				
銀行券	休日	ト ン	ト ン	△ 1,000	△ 1,000
財政他		△ 27,000	△ 19,000	△ 3,000	△ 12,000
資金需給		不 27,000	不 19,000	不 4,000	不 13,000
主要要因		国庫短期証券発行・償還 (3M) 国債発行(5年)	国庫短期証券発行・償還 (1Y)		国債発行(20年)
オペ期日		共通担保(全店) △ 2,800			被災地支援 △ 1,100
オペスタート		共通担保(全店) + 4,000	国債買入 + 8,900	CP等買入 + 3,500	被災地支援 + 1,100
(日本)				対外対内証券売買(前週分) 全産業活動指数(5月)	国庫短期証券の銘柄別買入額
(海外)	米 大統領選挙、共和党全国 大会(21日まで) 欧 EU外相理事会	米 住宅着工件数(6月) 米 IMF世界経済見直し改訂版 発表(ワシントン)	欧 ユーロ圏消費者信頼感 (7月速報)	米 新規失業保険申請件数 (前週分) 米 中古住宅販売件数(6月) 米 景気先行指標総合指数(6月)	米 小売売上高(6月) 米 消費者物価指数(6月) 米 セントリス連銀総裁講演

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.06 ~ 0.000
SPOT 2M	△0.06 ~ 0.000
SPOT 3M	△0.06 ~ 0.000
SPOT 6M	△0.06 ~ 0.000

＜インターバンク＞

今週の日銀当座預金残高は週初、国債の発行等の要因から先週末対比6兆400億円減少の、298兆8,700億円から始まった。その後は国庫短期証券・国債買入オペ等により12日には302兆5,100億円まで増加したものの、13日以降、源泉税揚げ・国債発行等の要因から300兆3,900億円まで減少し、越週した。
無担保コールON物は、週前半▲0.07～▲0.03%で取引されたが、13日～14日には、積み最終日に向けた残高調整で調達意欲が高まったこともあり、▲0.05～0%のレンジに上昇した。積み最終日には▲0.04～0%で出合う堅調な地合いであった。
同加重平均金利は昨週と比べて上昇し、▲0.053～▲0.034%となった。
ターム物は1W～1M物で▲0.055～▲0.03%の取引が散見された。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	0.000 ~ 0.005
TDB 3M	△0.300 ~ △0.200
現先(on/1w)	△0.100 ~ 0.000

来週の予定は、G20財務相・中央銀行総裁会議(23～24日、中国)が挙げられる。

＜CP＞

今週の入札発行額は約7,100億円で、期落ち額約3,800億円(金融機関・ABCP除く)を大きく上回った。機械や小売りの大型案件で膨らんだ。
a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.0010%割れで推移した。
現先レートの中心は、▲0.100%～0.000%程度で推移した。
来週の期落ち額は1,800億円程度となっている。

＜TDB＞

14日に国庫短期証券3M第620回債の入札が行われたが、最高落札レートはそれぞれ▲0.2533%(前回債▲0.3032%)、平均落札レートは▲0.2962%(同▲0.3234%)と前回債と比べて利回りは上昇した。セカンダリーは3Mで▲0.289%近辺の地合いとなっている。6Mは目立った出合は見られず、1Yは▲0.503%近辺の地合いであった。来週21日に3Mの入札が予定されている。

＜レポ＞

足許GC取引は、週初▲0.07%前後の出合いから始まり、週央まで▲0.07%～▲0.06%で推移。週後半は短国の発行が続き、レートは上昇。19日受渡、20日受渡共に▲0.05%近辺の出合いが中心となった。
SC取引では、20Y157回債は週を通して▲0.50%台～▲0.60%台の出合い。5年128回債は入札前まで▲0.60%近辺のレートで取引されたが、リオープン後のビッドは限定的であった。他では5年126・127回債、10年330・336・341・342回債、20年155・156回債、30年49・50回債などに引き合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。